

企画総務委員会 送付27-3

日本テレビ放送網麹町新スタジオ棟建設プロジェクトの見直しを求める陳情

受付年月日 平成27年6月2日

陳情書

(趣旨)

二番町に建築計画を進める日本テレビ放送網麹町新スタジオ棟プロジェクトは区と地域住民、企業、教育機関等が協議を重ね培ってきた街づくり計画を全く無視し、「二番町地区地区計画」の趣旨にも真っ向から反するものです。

歴史ある文教地区の居住と教育環境を損ない、地域の住居、各種施設、道路状況の安全性を脅かす計画と言わざるを得ません。

まずは現在の計画の差し止めと、周辺関係者との協議、千代田区にふさわしい品格ある街づくりに向けて様々な観点から建築計画を見直すよう、区の積極的な介入を求めて陳情をいたします。

この計画は現時点に見えるだけでも後述の通り数多くの問題点を抱えるものです。

1) 周辺の環境配慮、および地域まちづくり計画の視点から

建設予定地は番町文人通りに面した文教地区であり第2種住居地域、そして名門の中高一貫校・女子学院の目の前です。高さ60mの建物プラス鉄塔40m、計100mの建物は、狭い道路を挟んで女子学院を見下ろし、文人通りを挟んだ当マンション出入り口の真向かいに車両の地下駐車場への出入り口が設けられています。

また周辺には建設予定地を囲むようにアスク二番町保育園、マンションがあり、さらに大妻通りから日テレ通りを結ぶ一方通行の文人通り沿いには、千代田女学園、東京ビジュアルアーツ専門学校、そしてローマ法王庁大使館があります。計画建物は高さもさることながら収録スタジオという特性上、文教地区にはそぐわないものです。

日テレ通りに面した場所への建築を望みます。

2) 総合設計による高さや容積率の緩和と公開空地設置案への疑問

総合設計と建築主が主張する公開空地は、日テレ通りから文人通りに沿った歩道のようなものでここに緑地ができて建物の周辺住民には恩恵が感じられないばかりか、計画完成後は平置き駐車場への出入り口と新スタジオ棟の地下駐車場の出入り口2箇所が公開空地を分断する形になり、通行に際して安全性の向上も全く見込めません。

地域環境の向上という公開空地の制度趣旨からいえば公開空地は日テレ通りの奥、住居地域との境に置くべきです。

さらには本計画によれば、既存建物を使用しつつ新たな建物を建てるとあります。

それで総合設計は成立するのでしょうか。

3) 建築計画への疑問のみならず工事計画には更なる問題があります。

5月10日・11日、工事車両の進入経路と推定通行量の説明がありました。計画によれば進入路はすべて大妻通りから番町文人通りへ、退出路は番町文人通りから日テレ通りへと、女子学院の前から番町中央通りへ向かう2方向という説明でした。

前述の通り番町文人通りは大妻通りから日テレ通りに抜ける一方通行の道路です。この通りを通学に利用する教育関連施設は番町、麹町、九段の各小学校・幼稚園、アスク二番町と四番町保育園、一番町、四番町児童館(学童)千代田女学園、女子学院、東京ビジュアルアーツがあります。また、いきいきプラザなどのデイケアを利用する車両も毎日運行しています。

大成建設の試算によれば、1日当たりの最大工事車両の通行は180台とのこと。単純に8時間で割り算して3分に1台の通行量です。これらの車両が学校や住居の前を通るので宜しくと言われても承服できるものではありませんし、地域の特性、児童生徒の安全を計ることもない工事計画は無謀です。

日本テレビと大成建設は説明会にでた多くの疑問、要望を無視し、云わばだまし討ちのような形で千代田区への異議申立期間をスルーしました。四番町地区の再開発も踏まえ、地域全体での計画見直しを要望いたします。

平成27年6月1日

千代田区議会議長 戸張 孝次郎 殿